

問 早急にデジタル化を推進すべし

答 まず「まるデジ構想」を実現する

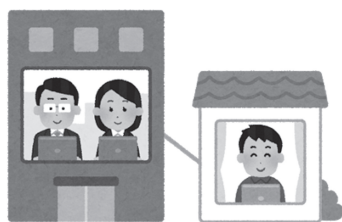
問 茨城県は8月時点で電子決裁率は100%である。デジタル化のメリットは、検索効率の向上、行政文書の改ざん防止、ペーパーレス化、省スペース化、テレワークの推進などである。本村の進捗を伺う。

答 勤怠・予約決裁のみ電子化されており、起案文の決裁は電子化されていない。

問 民間では当たり前のように行われているデジタル化も本村では進んでいない。これでは業務の効率的・効果的な改善は進まない。会津若松市では、公共



新政とうかい
よしだ みちひろ
吉田 充宏 議員



行政手続きをデジタル化し、
行政サービスの改革を

データをオープンにし、二次利用の推進を行い、透明性・信頼性の向上と新規事業、雇用創出など地域の活性化に寄与している。また、防災に関しては徳島県と日本テレビなどが、テレビとICカードを活用した防災対策システムを構築しており、本村も検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 まず「とうかいまるとデジタル化構想」に基づき役場業務の改革を図った上で、スマートシティや防災分野への取り組みの調査・研究を行う。

問 村健康診断に胃カメラの導入を

答 関係機関との調整を図りたい

問 村集団健康診断では、現在バリウムでの検査を実施しているが、村民の方から体に合わず、つらいとの声がある。バリウムと胃カメラのどちらか選択制にできないか、村の考えを伺う。併せて、県内における胃カメラの導入状況を伺う。

答 村で胃内視鏡検査を実施する場合は、「胃内視鏡検査画像読影管理委員会」及び「胃内視鏡検診運営委員会」の設置が必須である。日本消化器がん検診総合認定医等の十分な経験を有する2名以上の医師によって、検査画



公明党
おかざき さとる
岡崎 悟 議員



集団検診で健康管理を

像の読影を行うとされている。一方、「胃内視鏡検診運営委員会」は、地区医師会や検診実施機関等の専門医から構成され、検査医の認定、委員会の運用等を行う。このほか、日本消化器がん検診総合認定医等の専門医や検診実施医療機関の確保も課題となっている。

現在、水戸市や日立市など県内10市町で、委員会を設置し胃内視鏡検査を導入している。

今後、関係機関との調整を図り、課題解決に向け取り組みたい。